

## 2020年度 ガイドライン評価改善シート

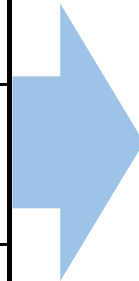
施設名 ( まつもと園 )

作成日時 ( 令和2 年 11月 16日 )

代表	施設長	本部
印		

R1年度 改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者ニーズに寄り添えるよう、面談を通して、本児の良いところだけではなく、苦手な部分も前向きに、話し合える関係を築く/・防災、緊急時、苦情対応マニュアルの配布/・活動プログラムの説明、案内（実際の様子を動画で伝える等）の整備</li> </ul>
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の障がい特性に合わせた環境作りをします。・合理的配慮を念頭に置き、利用児、保護者に寄り添い、明確な支援をしていきます。</li> </ul>

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員配置、専門性は適切である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の活動スペースに関して、10人定員になってから、十分に確保できているが、活動を見ていただく機会がなく、お伝えできていない。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善のためのP D C Aサイクル、及び、職員の資質向上のために研修に、職員が積極的に参画している</li> <li>・保護者アンケートの結果を踏まえて、業務改善につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価を受けていない</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと保護者のニーズに沿って放課後等サービス計画が作成されている。</li> <li>・放課後児童クラブや、児童館との交流や、障がいの無い子供との交流ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムの固定化しないように工夫している場面と、ルーチン化を目指す場面の個別化が伝えられていない</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携を取り、支援に反映している</li> <li>・面談や、育児に対する助言等の支援ができている</li> <li>・日頃から子どもの状況を伝え合うことができ、共通理解ができている</li> <li>・保護者同士の交流の場所の提供ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策により、玄関での引き渡しになり、中の様子が伝わりにくい</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要事項、利用者負担の丁寧な説明はできている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の連携支援が難しい</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの周知、説明が浸透してきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の実施の機会を増やす</li> </ul>



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の対応ができている</li> <li>・子どもの表出や、成長を実感、共感できている</li> <li>・ニーズや、課題のレベルの把握が、学校、保護者とできて、保護者の方の安心につながってきている</li> <li>・職員が真剣に、前向きに利用児の課題に向き合っている</li> <li>・専門職の外部コンサルタントや、研修内容を現場で展開できている。保護者の方にもお伝えできている。</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を伝えきれていない。</li> <li>・保護者同士の交流の場や時間が可能であれば、実現させたい。</li> <li>・児童館、児童クラブ等、障がいの無い児童との活動機会について、現在、児童クラブに声掛けをしている。</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズに寄り添えるよう、面談や、電話、メール相談を通して、前向きに、協同して話し合える関係を築く</li> <li>・支援内容の変更は、必要な時に随時行う（保護者の方に随時お知らせする）</li> <li>・お子様と一緒に参加できるワークショップを企画。同じ時間帯で、来られる方同士、交流の場として提供できれば行いたい。</li> <li>・活動プログラムの説明、案内(実際の様子を動画で伝える等)の整備</li> <li>・連絡ノートに活動内容を具体的に記入し、伝えることの徹底</li> <li>・保護者受け渡し時に、担当したスタッフが報告をできるようにする</li> <li>・指示に従うことが難しい利用者さんに対して、切り替えをスムーズにできる支援を徹底できるようにする（メリハリのある環境を目指す）</li> </ul>

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比べ、評価で前向きな意見を多くいただけてありがたく感じる。スタッフにも自信を持ってもらえるように、伝えている。</li> <li>これからも、人を大切にしていきたい。</li> <li>・利用児の人権、尊厳を大切にしたい。</li> <li>・合理的配慮を念頭に置き、これからも、保護者の方とのコミュニケーションをとり続けられるようにしたい。</li> </ul>

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の障がい特性に合わせた環境作り、活動内容を提供します。</li> <li>・合理的配慮と安全を念頭に置き、明確な支援をしていきます。</li> <li>・保護者の安心につながるコミュニケーションの形態を作ります。</li> </ul>
----------	---